

ビオトープ学習会を開催しました！

平成28年9月27日(火)に、西尾市内でビオトープ学習会を開催しました。

学習会には、地域の企業の方々を始め、愛知県土木研究会や地域の自然観察会、行政の方々など、様々な立場の人々約50名が参加し、座学と現地体験・見学会を通じて、生物多様性の意義とビオトープの必要性について学習しました。

第1部では、長谷川明子氏(ビオトープ・ネットワーク中部会長)を講師に、「生物多様性とビオトープ論」というテーマで講義を受けました。

地球サミットに端を発した生物多様性保全の世界的な潮流の中で、現在は生物が危機的な状況にあること、日本は生物多様性保全上で重要なホットスポットであること、生物多様性保全を掲げた「愛知目標」の達成に向けて我々が行動すべきことなどの説明を受けました。

そしてまたビオトープについても、「多様性」が必要で、ビオトープの多様性が生態系ネットワーク形成を図る上で重要なポイントであることなどを、図や写真を用いた明解な説明により学びました。

第2部では、ビオトープを実際に「見て・体験する」ことを目的に、現地での学習会を開催しました。西の町の森(ビオトープ)では、参加者が実際に草花の苗を植え、デンソー善明製作所ビオトープでは、ビオトープの状況を見学し、維持管理方法について学びました。

西の町の森(ビオトープ)では、所有者の杉田氏(㈱あいや社長)からビオトープの整備について熱い想いを聞き、施工業者の杉浦氏(山旺建設(株)土木部長)からは、ビオトープ整備の留意点、苦労話などの説明を受けました。

その後、関係者の方々が周辺地域で採取したヌスビトハギの種や、株分けしたり、種から育てたりしたカタバミやオオバコ、セリなどの苗を、参加者全員で園内に植え、コメントを書いた名札を付けました。

デンソー善明製作所ビオトープでは、尾崎節雄氏(㈱デンソーファシリティーズ推進部グループリーダー)を講師に、整備の経緯と目的、現状及び管理方法について説明を受けました。

ビオトープの池には、工場用地造成時に開発区域内のため池で発見されたウシモツゴ(希少種)を里帰りで戻していることや、水は、工場排水をろ過して使用していることなど、環境配慮への取組について説明を受けました。

また、1998年の整備以降、約20年間にわたる生きもの調査の結果や維持管理方法について説明を受けました。

【会長(事務局)から】

このたびの「ビオトープ学習会」は、生物多様性とビオトープのあり方について学ぶよい機会となりました。

参加者の皆様には、身近な自然を維持することが、生物多様性保全に重要で、地域に住む私たちにしかできないということが認識されたと思います。

また、以前のビオトープは、水辺づくりが中心でしたが、生物多様性保全の点では、地域の自然を理解した上で、地域の生態系ネットワーク形成に資するビオトープを造ることが重要であることを理解していただけたと思います。

西の町の森(ビオトープ)には、碧南海浜水族館から譲り受けたミナミメダカが放流され、参加者の皆様が植栽した草の苗は、取組の趣旨に賛同された方々が周辺から集めて育ててきたものです。

「人と人のつながりが育む生きものつながり」が「生態系ネットワーク形成」の原点で、今まさにこの仕組みが構築されつつあります。

この地域で普通に見られた雑草が、今や除草剤で除去され、あるいは外来種に駆逐され、身近では見られなくなっている現状です。

杉田様の想いは、「今ある自然を子供たちに継承する」こと。西の町の森(ビオトープ)は、長い年月を経て更に価値あるものになると確信しています。

デンソー善明製作所ビオトープは、希少種保全、排水処理などの目的をもち、長期的な整備計画を立てて管理されています。そしてその管理方法は、定期的な作業ではなく、生きもの目線に立ち、必要に応じて随時対応されています。

また、生きもの調査(モニタリング)を継続的に実施されていますが、これはビオトープを評価・改善していく上で非常に重要な作業です。

ビオトープは、竣工時が完成ではなく、長期的な時間軸の中で形を変えていく環境を、生きもの目線で必要に応じて手を加えていくことが肝要です。

ビオトープ整備を検討される上で、大いに役立つ内容です。

皆さんが、自分の土地にちょっとした生きものの生息空間(ビオトープ)を造っていただくことにより生態系が繋がっていく。このたびの学習会を通じて、ちょっとした小さな取組でも生物多様性保全に大きく寄与していることの「気づき」になればと思います。

最後に、本学習会にご協力いただいた、ビオトープ・ネットワーク中部の長谷川様、株式会社デンソーファシリティーズの尾崎様、株式会社あいや様、山旺建設株式会社様、株式会社デンソー西尾・善明製作所様、その他多くの方々にお礼申し上げます。

№2-1 活動状況写真とコメント

写 真	内 容
	<p>生物多様性の意義とビオトープについて学ぶ (西尾市文化会館)</p>
	<p>池の周りで、ビオトープの説明を受ける (西の町の森(ビオトープ))</p>
	<p>地域在来の草の苗を植え、名前を付ける (西の町の森(ビオトープ))</p>

№2-2. 活動状況写真とコメント

写 真	内 容
	<p>地域在来の草の苗を植え、名前を付ける (西の町の森(ビオトープ))</p>
	<p>案内板の前で、ビオトープの説明を受ける (デンソー善明製作所ビオトープ)</p>
	<p>果樹のビオトープで、ナツメやミカンを試食する (デンソー善明製作所ビオトープ)</p>